



第 381 号 平成 22 年 4 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 奥 村 正 治

ご 挨拶

会 長 奥 村 正 治

100年の歴史を重ねる京都市学校医会の会長をお引き受けする事となり、その責任の重さをあらためて痛感いたしております。思いかえしますと、15年ほど前と思いますが、当時の西京医師会長安田勝先生より「学校医会の会長より、西京から学校医会の理事が出ていないので誰か出す様にと云われたので、君行ってくれないか？ 月一回の理事会に出てくれたら良いから……。」の一言で、何もわからないまま、新米の西京医師会の理事としては「いや」とは云えず「はい」という事で、学校医会の理事の末席に坐らせていただき、今日の日を迎える事になりました。私なりに出来る限り責任を全うすべく努力をしていきたいと思っております。

会員の先生方のご指導、ご協力、よろしく御願ひ申し上げます。

3期6年の長き会長を務められました長村先生に御礼を申し上げ、先生が進めてこられた路線をくずす事なく、邁進してまいりたいと存じます。長村先生御苦勞様でした。

ただ長村先生は、何事においても一時の時間をあけずに瞬時に物事に対応され、解決の方向にもって行かれました。私はタイムリミットが目の前に来て、はじめて動きだすスロー形です。即決とは行きにくいと言う事が多々出て来ると思われます。会員の先生方、理事の先生方、事務職の田中さんには、大変ごめいわくをおかけする事と存じますが、大目に見ていただき、お許しいただきたいと存じます。

残り3年となりました麻しん風しん(MR)混合ワクチン第三期集団接種でございます。会員の先生

方のご努力で昨年はずまずの結果を生む事ができました。御礼申し上げます。残念ですが速報値では目標の95%接種率には達しませんでした。個別の最後のかけこみに期待せざるを得ないと言う結果になりました。最終結果が楽しみです。本年も会員の先生方にお願ひし、集団接種を行なう方向で進んでおります。本年はこの95%達成をなんとか成しとげたいと思っておりますが、学校関係者の御努力なしには成し得ない事業であります。接種を受ける生徒さんは、毎年毎年はじめてであり、フレッシュなのですが、校医を含め学校関係者にとっては経験をつんだ内容であります。経験がへたをすると手抜きになり、接種件数の減少につながっていくかも知れません。心して対応していきたいものであります。

来年の話になりますが、第62回指定都市学校保健協議会が、13年ぶりに京都で行なわれます。23年5月の開催予定ですので、本年が具体的に色々を進めていかななくてはならない1年になります。政令指定都市の数が年々増加し、今では一順するのに10年以上はかかりますが、この会も京都が最初で、5順目という事になっている様です。来年の事ではあります。会員の先生方の御出席をお願ひする事になります。

学校教職員の産業医の一面でもある健康管理医は給与の面では云々ありますが、まず校医も学校の一員であるという点より「学校へ行こう」を合い言葉にし、又、昨年のようなインフルエンザの流行機に学校管理者と休日に連絡が取れないという事も出たりいたしました。どうぞ校医と学校管理者、養護教諭

との連絡網の充実を図っていただきたいと思います。と
ります。

この校医ニュースは毎月の発行です。紙面を通じ
ご報告を含め、お願い事等申し上げたいと思ってお

ります。

重ねて会員の先生方のご指導、ご鞭撻をよろしく
お願い申し上げます、会長就任のご挨拶とさせていただきます。

会長退任の御礼

長村吉朗

私はこれまで3期6年にわたり京都市学校医会の
会長を務めさせていただきましたが、今期を持って
会長職を退く事といたしました。本当に有り難う御
座いました。皆様方の暖かい見守りとご支援無しに
は到底務めることは出来ませんでした。私にこの仕
事を与えていただかなければ、祇園で毎晩遊んでい
る馬鹿な医者がいると言われるだけであったと思っ
ています。この様な私に仕事を与えていただき、又
寛大な心で見守り、我慢をしていただきましたこと
に心よりお礼申し上げます。

さて私にとっての6年間の思い出ですが、まず初
めは羽場前会長の病気による1期での会長職の辞任
を受けてのリリーフとしての登板となったことです。
思い起こせばその当時あるゴルフ場でのゴルフの最
中に若泉、河野両先生との会話の中で、「羽場君の
後の会長は誰になるのだ？」との問いに「私がなり
ます」と言って絶句されたことが昨日のように思い
出されます。前任であり先輩でもある奥村先生をさ
ておき、又同じ内科の12年も先輩の平位先生に副会
長になっていただき、よくぞ会長になれたものです。
今思うと汗顔の至りです。

次は学校医会創立100周年の事業を行えたこと
です。実際は既に100年は経過していたのですが、以
前に行いました70周年より数えて30年後にあたる平
成19年に多くの方の参加の下、記念式典を行うこと
が出来ました。同時に記念の像を竹間公園内に設置
することが出来、今では子ども達の遊び場の一部と
なっております。

しかし私にとってそれ以上に重要なことがありま
す。これは本当に皆様方のおかげなのですが平成21

年4月16日より始まったMRの3期の市立中学校に
おける集団接種を実施出来たことです。多くの学校
医の先生方の献身的なご協力のおかげで、他の政令
指定都市では実施困難な集団接種を可能としていた
いただきました。心よりお礼申し上げます。政令指定都
市のような大所帯で集団接種が行なえたことは、先
生方なら子ども達のために絶対に協力していただ
けるとの信頼の元、行政が尻込みをする医師の確保を
思い切って決断したことにつきると思います。その
おかげで3期だけは92%を超過接種結果となりました。
ただ残念なことは、このようにして先生方に生
み出していただきましたお金の一部でも子どもたち
に還元してほしい、高校生の研修旅行に対して学校
で指導しているMRの自主接種を、4期の接種の前
倒しとして低所得家庭に対してだけでも良いからの
公費補助をしてほしい、との私どもの強い願いがく
み上げられないことです。余り日にちはありません
が、今後も粘り強く働きかけを行っていきたくと思
っております。

これ以外に自分でも驚いたことがあります。それ
はこの6年間巻頭言を欠かさず書き置けた事です。
巻頭言以外にも色々書いたため、この文章以外を
含め112もの文章を書きました。本来私は文を書く
のが苦手で、これほどの数の文を書けるとは本当に
びっくりです。自分の新たな面を発見した思いです。

これまで学校医会の仕事を与えていただきました
ことで、私は多くの事を学ばせていただきました。
今後もその一部でも学校医会のために恩返しが出来
ればと思っております。本当に有り難う御座いまし
た。

思春期・青年期精神保健ケースマネジメント事業 平成21年度 第2回運営検討会議に出席して

京都市学校医会：精神衛生研究班 杉本英造

全国の平成20年度の自殺者数32249人中、学生・生徒の自殺者数は972人で小学生：9人・中学生：74人・高校生：225人・大学生：536人・専修学校生等：128人。京都市の平成20年の自殺者数は316人でしたが、京都市は大学が多いこともあり、自殺者の中に学生が占める割合が多いことが特徴です。

運営検討会議は、京都市こころの健康増進センター（京都府医師会館の隣り）が中心となり、関係機関：京都市学校医会・京都大学・京都府立医大・京都市立病院・京都家庭裁判所・京都少年鑑別所・NPO法人京都ダルク・京都市ユースサービス協会・京都府警少年サポートセンター・NPO法人京都オレンジの会・左京保健所・児童福祉センター・京都市教育委員会・文化市民局勤労福祉青少年課等、多くの関係者が出席し、近況報告を行うことから始まります。その後、最近の事例が紹介され、意見を出し合うことにより、共通認識、横のつながりを育成し、

関係機関が協力して相談および支援活動を実施し問題解決を目指します。学校医会からは、京都市学校医会誌（第19号：43-49、平成20年）に記載した「心のワンポイント相談事業」経過報告を紹介し、発達障害の児童・生徒に苦勞しておられる教師が多いことを強調いたしました。

会議の今回のテーマは、若者の自傷行為・自殺にどのように向き合うかが議題でした。リストカットを繰り返しながらも回復傾向にあり「元気ががんばっています」と言っていた生徒の自殺。自殺のサインを見逃していなかったか？ 自問する担当者の重荷は一人では背負いきれません。いじめ・虐待・家庭内暴力等から派生する児童・生徒の自殺に学校医はどのように向き合えばよいのでしょうか？ それぞれに抱える背景は複雑なため、事案検討をくりかえし、関係者で共通の意識を持つよう努める。運営検討会議の重要性を新たにしました。

京都市学校医会：精神衛生研究会のご案内

「自閉症スペクトラム：ASD」「注意欠陥多動性障害：ADHD」「学習障害：LD」等の言葉を聞いたことはあるけれど、相談を受けたら答えられますでしょうか？

今、学校では多くの担任・養護教諭が発達障害や摂食障害等の問題に直面し困っておられます。このたび、新しく学校医に着任された先生方にも、相談案件がありましたら、よきアドバイザーになっていただければ幸いです。

学校医会：精神衛生研究会では昭和53年より子供の心の問題をテーマに京都大学：青木健次教授を講師に招き、毎月1回抄読会を開き研修しております。年に3冊程度のゆっくりしたペースで青木先生の解説と時事の話題を織りまぜ進めています。ご興味のある先生がいらっしゃいましたらご参加お待ちしております。

場 所：京都市学校医会事務局（京都市中京区間之町通竹屋町下ル楠町 こどもみらい館2階）

電話：256-0351 FAX：241-3568

日 時：毎月第2木曜日 14：30～16：30

※抄読会で現在使用している本は事務局へお問い合わせください。初めて参加される方は、事務局へ日時の再確認をお願いします。（講師の先生の都合等で変更されている場合があります）

平成22年度 京都市学校保健会事業計画（案）

22. 3. 17 現在

年月日	曜日	事業内容		会場又は開催地
		京都市学校保健会	その他	
22. 4.15	木		全国学校保健会事務担当者連絡会	東京都
22. 5.16	日		第61回指定都市学校保健協議会	大阪市
22. 6. 1	火	第1回常務委員会 指定都市学校保健協議会第2回実行委員会		総合教育C
22. 6.15	火	理事会・評議員会 新旧会長歓送迎会		新・都ホテル
22. 7.15	木		第32回近畿学校保健連絡協議会	滋賀県大津市
22. 9.28	火	第2回常務委員会 指定都市学校保健協議会第3回実行委員会		総合教育C
22.10.26	火	学校保健会健康教育シンポジウム		総合教育C
22.11.18 ～19	木 金		第59回全国学校保健研究大会	群馬県群馬市
22.12.11	土	研究発表会・表彰式		総合教育C
22.12.11	土	表彰祝賀会・懇親会		未定
23. 2.	未定		学校保健センター事業報告会	東京都
23. 3.	未定	指定都市学校保健協議会第4回実行委員会		

その他の事業・会議等

- (1) 会誌 111・112号及び集録の刊行
- (2) 会議…指定都市学校保健協議会（運営委員会、専門部会）常務委員会、企画・広報・研究・表彰委員会、支部長会
- (3) 連絡会…支部連絡会、研究実践助成校連絡会

第11回 常任理事会

平成22年4月3日 於 事務局

出席者 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、藤田・竹内・福持・井本・杉本各常任理事、佐野眼科学校医会副会長、星谷・鈴木各耳鼻咽喉科専門医会理事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 校医・小児科医感染症講演会 3/6 109名出席
2. 精神衛生研究会 3/11 7名参加
3. 京都市こころの健康増進センター思春期・青年期精神保健ケースマネジメント事業第2回運営検討会議 3/16 今月号参照
4. 色覚相談 3/16 2/23 1名、3/16 1名
5. ワンポイント相談 3/18
中2の生徒、母と担任からの相談
6. 新任校医研修会 3/25
25名出席（眼科2名、耳鼻科7名を含む）
7. その他 学校給食安全衛生委員会

<協議事項>

1. 平成22年度京都市学校保健会役員選出について
2. 平成22年度京都市学校保健会事業計画について
3. 第62回指定都市学校保健協議会専門部会部員選出について
4. 会誌について
5. 学校医報酬について
6. MR集団接種報告書について
7. MR集団接種出務医について
8. その他

<関連学会・各種協議>

1. 全理事会
4/8 2:00pm～ 於：こどもみらい館
2. 精神衛生研究会 4/8
3. 京都市学校薬剤師会 4/10 長村出席
4. 京都市学校医会総会 4/17
5. ワンポイント相談 4/22
6. 腎臓相談 4/27
7. 第1回常任理事会 5/1 2:00pm～